

様式第1（第3条関係）

託送収支計算書

事業者名 仙台市ガス局

令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	8,961,180	営業収益	9,237,063
供給販売費	8,046,180	託送供給収益	0
労務費	2,083,569	自社託送収益	9,237,063
諸経費		事業者間精算収益	*****
修繕費	1,070,421	最終保障供給収益	0
消耗品費	54,197	その他託送供給関連収益	0
賃借料	170,297	（補償料等収入）	0
租税課金	552,726		
固定資産除却費	54,912		
需給調整費	125,578		
その他経費	1,154,293		
減価償却費	2,780,187		
一般管理費	915,000		
一般管理	915,000		
最終保障供給費用	0		
営業利益	275,883		
営業外費用	344,501	営業外収益	163,999
資金調達	330,124	資金運用	0
雑支出等	12,842	雑収入	163,576
その他	1,535	その他	423
特別損失	1,150	特別利益	1,644
税引前託送供給関連部門当期純利益	95,876		
法人税等	0		
託送供給関連部門当期純利益	95,876		

(注)「事業者間精算収益」は、ガス事業託送供給収支計算規則第9条に規定する「公表方法の特例」により、「自社託送収益」に含めて記載しております。

(託送収益明細表)

(単位:千 m^3 、千円、円/ m^3)

	託送供給量	託送収益	単価
託送供給収益	0	0	—
自社託送収益	273,412	9,237,063	33.78
事業者間精算収益	*****	*****	*****
最終保障供給収益		0	
その他託送供給関連収益		0	
託送収益合計	273,412	9,237,063	

(注)「事業者間精算収益」は、ガス事業託送供給収支計算規則第9条に規定する「公表方法の特例」により、「自社託送収益」に含めて記載しております。

様式第2(第4条関係)

託送資産明細書

事業者名 仙台市ガス局

令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで

(単位:千円)

項目	金額
建設仮勘定	452,374
設備勘定(有形)	31,468,301
無形固定資産	761,874
長期前払費用	251
運転資本	762,782
繰延資産	0
託送資産合計	33,445,582

(注)期首期末平均額を用いて算定している。

(一般ガス導管事業者:本支管投資額実績表)

(単位:千円)

項目	直近実績					5年平均額
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
主要導管	0	0	0	0	0	0
本支管(主要導管以外)	1,925,633	1,673,993	1,766,043	1,733,411	1,578,851	1,735,586
計	1,925,633	1,673,993	1,766,043	1,733,411	1,578,851	1,735,586

様式第3(第5条関係)

第1表

超過利潤計算書

事業者名 仙台市ガス局

令和2年4月1日から

令和3年3月31日まで

(単位:千円)

項目	金額
税引前託送供給関連部門当期純利益 (又は税引前託送供給関連部門当期純損失) (①)	95,876
託送供給関連部門の営業外費用(その他に限る。)(②)	1,535
託送供給関連部門の営業外収益(雑収入を除く。)(③)	423
託送供給関連部門の特別損益(④)	495
その他調整額(⑤=⑥+⑦)	0
補償料等収入(⑥)	0
最終保障供給取引損益(⑦)	0
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益(又は調整後税引前託送供給関連部門当期純損失) (⑧=①+②-③-④-⑤)	96,493
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益に係る法人税等(⑨)	0
調整後託送供給関連部門当期純利益(又は調整後託送供給関連部門当期純損失) (⑩=⑧-⑨)	96,493
託送供給関連部門事業報酬額(⑪)	1,217,031
減少事業報酬額(⑫)	0
託送供給関連部門の営業外費用(資金調達に限る。) (⑬)	330,124
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (⑭=⑩-⑪+⑫+⑬)	△ 790,414
うち想定原価と実績費用との乖離額	△ 432,708

第2表

超過利潤累積額管理表

事業者名 仙台市ガス局

令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで

(単位:千円)

項目	金額	備考
前期超過利潤累積額(又は前期欠損累積額) (①) (うち前期乖離額累積額) (⑦)	△ 99,651 (762,059)	
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (②) (うち想定原価と実績費用との乖離額) (⑧)	△ 790,414 △ (432,708)	
還元額(③)	0	
当期超過利潤累積額(又は当期欠損累積額) (④=①+②-③) (うち当期乖離額累積額) (⑨=⑦+⑧)	△ 890,065 (329,351)	
一定水準額(⑤)	1,735,586	
一定水準超過額(⑥=④-⑤)	0	

- (注) 1. 一定水準額は様式第2の託送資産明細書の本支管投資額実績表中「直近実績」の5年平均額を適用している。
2. 一定水準超過額は、零を下回る場合にあっては零を記載している。

第3表

導管投資額明細表(一般ガス導管事業者)

事業者名 仙台市ガス局

令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで

(単位:千円)

項目	当期投資額	備考
高圧導管	0	
中圧導管	432,901	泉パークタウン第6住区 ガス中圧本管
計	432,901	

第4表

内部留保相当額管理表

事業者名 仙台市ガス局

令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで

(単位:千円)

項目	金額	備考
前期末内部留保相当額 (①)	△ 4,558,013	
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (②)	△ 790,414	
還元額 (③)	0	
当期導管投資額 (④)	432,901	
当期内部留保相当額 (⑤=①+②-③-④)	△ 5,781,329	還元義務額残高 : 0

第5表

乖離率計算書

事業者名 仙台市ガス局

項目	値	備考
想定原価(千円)(①)	28,670,060	
想定需要量(千m3)(②)	841,567	
想定単価(円/m3)(③=①/②)	34.06	
実績費用(千円)(④)	28,766,724	
実績需要量(千m3)(⑤)	817,964	
実績単価(円/m3)(⑥=④/⑤)	35.17	
乖離率(%) (⑥/③-1)×100	3.26	

想定原価及び想定需要量は、平成29年4月から令和2年3月までの3年の合計とした。

実績費用及び実績需要量は、平成30年4月から令和3年3月までの3年の合計とした。

事業者の定める算定方法一覧表

事業者名 仙台市ガス局

収益・費用・資産の項目	算定方法	算定方法を定める理由
(本支管投資額実績表)	平成28年度以前の実績は、「輸送導管」「本支管(輸送導管以外)」の区分で記載している。	平成28年度以前の本支管投資額実績表において、左記の区分で整理しているため。
(導管投資額明細表)	導管投資額明細表には工事負担金圧縮後の投資額を記載している。	導管投資額については、内部留保相当額から控除するものとした制度の趣旨に基づいて算定することが合理的であるため。
(一般管理費の機能別原価への配分基準)	一般管理費は、機能別原価金額比によって従量原価を除く機能別原価項目へ配賦する。	固定費の一部である一般管理費をその実態に応じて固定的に回収する観点から、機能別原価金額比により配賦する配賦対象を従量原価を除く機能別原価項目とする。